

第23回 ちゅうでん教育振興助成（2023年度）

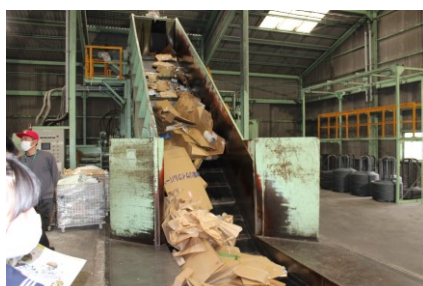
小・中学校の部 報告書資料

学校名・団体名	中間市立中間南中学校
コース	学校支援コース
活動・研究のテーマ	地域社会へのアプローチ ～SDGs ウォーキング提案～
<p>1. 実施計画に至るまでの経緯</p> <p>近年、よりよい社会を目指すため社会に開かれた教育課程に向けた取り組みが求められている。本市でも、「中間市教育大綱」を掲げ、「児童生徒の健やかな成長と人格の形成を目指し、家庭・地域社会と密接な連携による生徒指導の充実を図り、信頼される学校づくりの推進」を目指し教育活動が展開されている。そこで将来の中間市を担う子どもたちが地域社会と連携を進めていく学習活動を構想した。地域社会の現状に注目すると近隣する都市は「SDGs 未来都市」へ選定されるなど、SDGs を原動力とした地域創生が推し進められている。その点に注目して SDGs を中核に学習活動を行う。この学習活動で生徒たちが中心となって SDGs を推進することにより、よりよい社会づくりへ参画する生徒の育成に寄与すると考えられる。さらに、地域の「ヒト・モノ・地域資源」を活用し、教科横断的な学習が行える活動を構想した。SDGs のような真正な学習テーマに取り組むことはそれまで学習してきた内容を組み合わせた教科横断的な学習を計画した。</p> <p>2. 活動内容</p> <p>(1) 対象者 特別支援学級（13名）</p> <p>(2) 活動内容</p> <p>【導入】 9月 「SDGs ってなんだろう」</p> <p>①絵本「世界がもし100人の村だったら」を読んだ。「貧しいこと」や「食料がたりていないこと」という状態を理解はしても、地球規模で考えたことがある生徒は少なかった。実際にどれくらいの人困っているか数や割合を提示した。そうした学習を繰り返し行うことで実態をつかみ、世界には解決しなくてはならない問題がたくさんあることを学んだ。</p> <p>②日本ユネスコ協会ホームページを活用して、SDGs が作られた経緯とその具体的な達成目標について学んだ。すでに日本で取り組まれている SDGs への取り組みを紹介することで、一人一人が取り組んでいかななくてはならないことに気づき、当事者意識の涵養につながった。</p> <p>【展開】 10月・11月・12月 「身近な SDGs を調査しよう」</p> <p>③実際に SDGs を達成するためにどのような取り組みが行われているか中間市内での調査を行った。中間市にどのような企業や店舗があるか地図を活用しながら調べた。生徒たちは自分たちの住む中間市が意外と広いことに</p>	



驚き、今まで中間市と思っていたところが実は違う市町村であることなどにも気づいていた。企業・店舗のリストアップを行った後、それらの企業・店舗が SDGs の取り組みを行っているか、インターネットを活用して調べた。詳しく調査を行いたい企業・店舗については、取材を行うことを決めた。電話での対応の仕方や丁寧な言葉遣いの使い方を学習した上で、生徒たちが取材を行う日程や時間を企業・店舗と連絡を取り合うなど、日常生活に根差した学習に取り組んだ。

④SDGs に取り組む企業・店舗に取材を行った。カンやダンボールのリサイクル工場や、ゲームセンター、アイスクリーム販売店、パン屋に見学に行った。どの企業・店舗でも普段は見ることのできないものを案内していただき、非常に興味を掻き立てられる経験を積むことができた。



【まとめ】 1月・2月・3月 「中間市へSDGsを広めよう」

⑤調査と取材の結果をまとめ、地図上にまとめた。地図は誰にでも見やすいユニバーサルデザインを目指し、目が見えにくい人でも見えやすいように大きくまとめたり、小学生などの子どもにもわかるように簡略化した地図を作成し、作成した地図を中間市内へ広報する計画を立てている。

⑥取材に協力していただいた店舗と協力して環境に優しい大豆ハンバーガーの商品開発を行った。はじめは全員食べたことのない大豆ミートを、繰り返し調理実習を重ねるなかでよりおいしく食べる方法を考えた。食材同士の組み合わせを自分たちで考えたり、効率の良い作業を行うためのグループ分けや役割分担を考えて調理実習を行った。試行錯誤の末、商品を開発し中間市長へ紹介し、各報道機関にも協力していただき広報を行った。開発された商品を3月販売し、今年度のSDGs学習の区切りとする。



3. 学習の成果

本学習を通して、生徒は各教科等の学びを基盤としつつ、様々な情報を活用しながらそれを統合し、課題の発見・解決や社会的な価値の創造に結び付けていく資質・能力の育成が行えた。中間市のよさを発見し、情報発信の担い手となることで地域社会に参画していこうとする意識の芽生えとなった。本校での学習課程が「よりよい社会を目指すため社会に開かれた教育課程」となることに大きく寄与できた。